

過疎問題連絡懇談会

「能登地域寺院調査」報告会

2018年4月6日(金)

13:30-17:00

真宗大谷派しんらん交流館

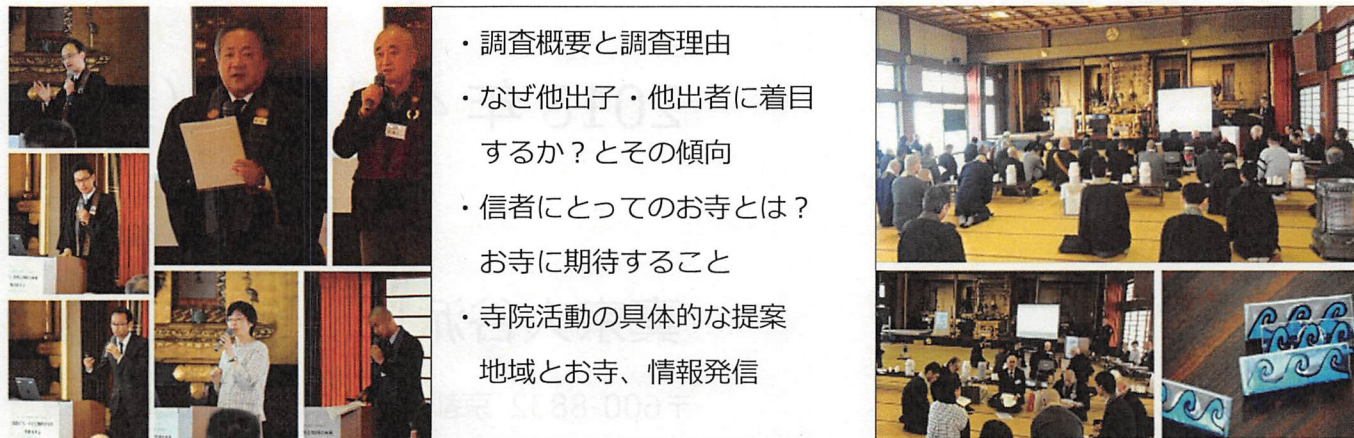
〒600-8832 京都府京都市下京区上柳町 199



《プログラム》

現地報告会 報告内容 概観／現地寺院の反応

報告者：那須公昭（浄土真宗本願寺派総合研究所）



追加分析報告

1 ペット葬の可能性

報告者：鈴木芳謙（智山教化センター）

2 銭湯と寺院

報告者：藤丸智雄（浄土真宗本願寺派総合研究所）

全体協議会

《概要》

2017年8月25日～28日に、七尾地域に所在する寺院関係者、ならびに門信徒（檀信徒）を対象として、20ヶ寺に聞き取り調査、また地域住民の方々にアンケート調査を実施させていただきました。今回の調査では、各教団のみなさまにご尽力を賜り、宗派の垣根を越えて地域・寺院の現状や寺院活動の工夫・ご苦労などを聞かせていただきました。本調査にご理解、ご協力いただきましたみなさまにはこころより御礼申しあげます。

3月13日に真宗大谷派能登教務所にて開催した現地報告会では、特に郷里から他出された門信徒（檀信徒）の方々との関わりに焦点を絞り、寺院活動の“いま”と“これから”について分析結果を報告し、現地の参加者とともに語り合いました。これらの概要をお伝えするとともに、別の角度から分析した結果を報告させていただきたく存じます。

過疎問題連絡懇談会は、「過疎問題」という共通の課題をもつ異なる宗派が一同に会し、共に問題解決へ向けて取り組むことを目的として設置しました。皆さんと共に情報を共有し、議論しあうことで活動へと展開し、お寺のより良い未来のために取り組んでいけるような会となることを目指しております。みなさまのご参加、こころよりお待ちしております。